



【凡例（豊凶指数）】

コナラ	ミズナラ	ブナ	豊凶指数	説明
×	×	×	0	ほぼ全く結実がない
○	○	○	0.1-0.6	ほとんどの木で、少量以下の結実
○	○	○	0.7-1.2	多くの木で、並みの結実
○	○	○	1.3-1.8	一部の木で大量の結実
○	○	○	1.9-2.4	半数以上の木で大量の結実
○	○	○	2.5-3.0	ほぼ全ての木で大量の結実

【過去5ケ年の豊凶判定】

	樹種	R3	R4	R5	R6	R7
豊凶区分	コナラ	凶	並上	並上	凶	大豊
	ミズナラ	凶	並上	大凶	大凶	豊
	ブナ	豊	大凶	大凶	大凶	大凶
	3種総合	並上	並上	並下	大凶	豊

【調査方法と結果】

- 観測地点数：252地点（コナラ：218地点（県全域の低標高帯）、ミズナラ：19地点、ブナ：15地点（主に県北部の高標高帯））
- 調査期間：令和7年8月28日～9月8日
- 調査方法：各観測地点で調査木10本を設定し、各調査木の豊凶度を4段階(0,1,2,3)で判定し、その平均値から豊凶指数を決定。
- 調査結果：全県的にドングリ類は実りが多くなる見込み

<出沒予測> 大凶作だった昨年度に比べ、ツキノワグマの出沒は少なくなる可能性が高い